

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス 四季		令和7年 2月 28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	建物はバリアフリーで段差もない。必要な箇所にポップを掲示して児童に情報が伝わりやすいようにしている。	児童の特性や年齢を考慮しながら今後も適切に視覚的にわかるようにしていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日清掃を行い、快適に過ごせるようにしている。学習スペースやパソコンを使用する場所、活動を行う場所等わかりやすいように配慮を行っている。	適宜児童とも相談をしながら模様替えを行い空間づくりを行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	静養室を使い、クールダウンや個別の相談を行っている。	静養室が1室しかないため複数名使用したい児童がいる場合には順番を待つ必要があった。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	朝礼で前日の振り返りや職員会議の中で業務の改善を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	評価表を基にサービスの内容の見直しや改善を行っている。	ご意見等があればその都度伝えていただければと思います。言いにくい場合は意見箱にも投函をお願いいたします。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	内部研修を毎月行い、また外部の研修にも参加している。外部の研修で学んだことについては持ち帰って他の職員にも共有している。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	作成し公表した。	定期的に実情と合っているのか確認し、見直しを行っていきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	会議の中で情報を共有しながら検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	7	5領域に基づいたアセスメントを作成している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	毎月季節や児童の興味に応じた活動の設定を職員間で話しながら立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	5領域に関連する活動を実施し、曜日ごとに固定しないように立案を行っている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス 四季		令和7年 2月 28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	記録係や活動担当等役割や一日の流れについて決め、活動内容については児童が来所する前に職員で一度実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	終礼記録やを用いて朝礼を行い、振り返りを行い翌日以降の支援に反映させている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	記録事項はその都度記録の担当が記載し、終礼や朝礼で共有を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	半年ごと、または必要時にはモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	児童が自分の意見が言えるように肯定的な声掛けや対応を心掛けている。保護者への意見箱とは別に児童が投函できるお願いボックスを設置して投函してもらい、活動や四季の利用についてお願いがあれば反映している。	自分から意見が言えるように日ごろからの関係性を大事にしながら支援を行っていきたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	学校からの通信をいただいたり、ホームページで確認や保護者から情報をいただきながら把握を行っている。トラブル発生時には学校や保護者に迅速に連絡を行いながら対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	必要があれば関係者で会議を持ち情報共有と相互理解ができるように努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	昨年度高校を卒業された児童の移行にあたり関係者で会議を行い、情報の提供を行った。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	8	必要があれば相談し助言を受ける。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	児童館や地域の公園を定期的に利用し、地域の方々や児童との関わりが持てるようにしている。	放課後児童クラブや地域の行事には参加することができていないため。機会があれば参加を検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	子ども支援部会に参加し、研修や情報交換を行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	保護者が迎えに来た際や自宅にお送りした際、または連絡帳を利用して情報の共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	7	相談があった際には対応をしているが参加型の研修等は実施できていない。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約の際に説明を行っている。	支援プログラムは作成できていなかったため年度の初めに説明を行う。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス 四季		令和7年 2月 28日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保 護 者 へ の 説 明 等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	作成時に行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	相談があれば対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情があった際には迅速に情報収集を行い、当事者、責任者を含め対応を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	月に1回の通信や必要な場合に文書やLINE等で連絡を行っている。	SNSの掲載頻度について保護者よりもう少しこまめに行ってほしいと意見があり、掲載頻度を現在よりも多くしていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	伝達するタイミングや一度に伝える情報の量を考えながら伝えるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	活動の中で地域のボランティアに来ていただいたり、地域のゴミ拾いを実施している。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	現在該当する児童がいないが該当する場合には対応していく。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	児童が車両に乗るたびにチェックシートや安全装置を用いて確認を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットは職員間で共有、確認を行い再発を防いでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	毎月内部研修を実施している。	日ごろの発言や行動が相手にとって不快ではないか、虐待と受け取られることは無いかを確認している。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	現在は該当する児童はいないが、日々の支援の中で身体拘束にあたる可能性がないか委員会の中で話し合っている。	